

正 副

記載事項及び留意事項は、「盛土等許可申請の手引き [本編]」
(P1-308~309) を参照してください。

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書 【記入例】

宅地造成及び特定盛土等規制法 { 第 12 条第 1 項 } { 第 30 条第 1 項 } の規定により、許可を申請します。 令和〇〇年〇〇月〇〇日 (あて先) 岐阜市長 株式会社 〇〇〇〇 申請者 氏名 代表取締役 〇〇 〇〇		※手数料欄			
1	工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	〇〇市〇〇町〇〇番地〇 株式会社 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇 (〇〇市〇〇町〇〇番地〇 取締役 〇〇 〇〇 ほかに2名(別紙参照))			
2	設計者住所氏名	□□市□□町□□番地□ 株式会社 □□□□ □□ □□ ○			
3	工事施行者住所氏名	△△市△△町△△番地△ 株式会社 △△△△ 代表取締役 △△ △△			
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	岐阜市〇〇町3丁目123番4及び123番5の一部 (緯度: □度 □分□.□秒、経度: △度 △分△.△秒)			
5	土地の面積	〇〇〇.〇〇 平方メートル			
6	工事着手前の土地利用状況	農地: 畑			
7	工事完了後の土地利用	宅地: 建築物(工場)			
8	盛土のタイプ	平地盛土・腹付け盛土・谷埋め盛土			
9	土地の地形	溪流等への該当 有・無			
10 工 事 の 概 要	イ 盛土又は切土の高さ	盛土: 〇.〇〇/切土: 〇.〇〇 メートル			
	ロ 盛土又は切土をする土地の面積	〇〇〇.〇〇 平方メートル			
	ハ 盛土又は切土の土量	盛土	〇〇〇.〇〇		立方メートル
		切土	〇〇〇.〇〇		立方メートル
	ニ 擁壁	番号	構造	高さ	延長
		擁壁 1	RC 構造	1.20メートル	15.0メートル
	ホ 崖面崩壊防止施設	番号	種類	高さ	延長
				メートル	メートル
ヘ 排水施設	番号	種類	内法寸法	延長	
	排水 1	コンクリート側溝	B30×H30 センチ メートル	9.0メートル	
	排水 2	集水桝	B50×D50× H45 センチ メートル	1基	
	排水 3	V P 管	φ15センチ メートル	1.0メートル	

次ページ参照

ト	崖面の保護の方法	擁壁	
チ	崖面以外の地表面の保護の方法	芝張り	
リ	工事中の危害防止のための措置	仮囲いにより第三者への災害防止を行う。	
ヌ	その他の措置	工事中の雨水の処理として、沈砂池を設け水中ポンプにて区域外の側溝に流す。	
ル	工事着手予定年月日	令和〇〇年 〇〇月 〇〇日	
ヲ	工事完了予定年月日	令和〇〇年 〇〇月 〇〇日	
ワ	工程の概要	仮設工→掘削工→擁壁工→埋戻工→排水工→整地	
11	その他必要な事項	法定外公共物敷地占用・工作物新築等許可申請、農地法第5条許可申請	
	※受付欄	※決裁欄	※許可に当たって付した条件
	年 月 日		年 月 日
	第 号		第 号
	係員氏名		係員氏名
<p>〔注意〕</p> <ol style="list-style-type: none"> ※印のある欄は記入しないでください。 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。 8欄は、該当する盛土のタイプに○印を付してください（複数選択可）。 9欄は、溪流等（令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。 			

「6 工事着手前の土地利用状況」・「7 工事完了後の土地利用」の記載例

<p>[例]農地：田 畑 採草放牧地 農業用施設（畜舎、温室 等） 等</p> <p>[例]宅地：建築物（住宅、工場、宅地分譲、分譲住宅 等） レジャー施設（建築物を伴わない） 太陽光発電設備 資材置き場 駐車場 駐輪場 残土処分場 等</p>
--